

エ | ネ | が | お 4

～エネルギーをつなぐ現場の素顔～



慣れ親しんだ地元の
安定供給に貢献することが
誇りであり、喜びです。

電力ネットワークカンパニー
長野支社 飯山営業所 配電課
滝澤 広昌



長野支社 飯山営業所は、中部電力の中で最北部となる、新潟県との県境の雪深い地域にあります。私の担当業務は、お客さま宅のサービスブレイカーの交換や停電時の対応などお客さまからの申し込みに応える業務を中心に、配電線の保守管理など、地域に密着した仕事を行っています。

飯山営業所が管轄する地域は、長野県の中でも特に雪が多く、積雪量は、多い年で約4mにも達します。そのため、冬場は、雪国ならではの業務や作業も多くあります。厳しい自然環境に向き合い、自分が生まれ育った地元の安定供給に貢献することは、自分の誇りです。

長野支社 飯山営業所のエネがお

☑ name	☑ department	☑ entering company
滝澤 広昌	電力ネットワークカンパニー 長野支社 飯山営業所 配電課	2008年(入社10年)

☑ work
生まれも育ちも長野県で、実家は飯山営業所のエリアでもある山ノ内町。地元の工業高校 電気科を卒業後、中部電力に入社。長野県内の営業所で配電マンとして、生まれ育った地域の安定供給を守るため、現場でのスキルを日々磨いている。



01

深い雪と戦いながら進む 冬の現場業務

この地域では、冬になり寒くなると、夏場は車で向かえる現場でも、道が雪で埋まり、行けない場所もあります。そんな時には、スノーモービルで移動したり、車が止められるところまで行き、雪かきをしながら徒歩で現場に行くこともあります。

冬、山間の現場に行くときは、スキーを履いて現場に行きます。

03

安定供給のために 常日頃から観察力が必要

私たちの使命は、電気を安定的にお届けすることです。そのために、現場を回る中でも、設備の変化や異常がないか、注意深く周囲を観察し、気を配ります。「ちょっといつもと違うな」「おかしいな」という気付きが、停電や設備故障を、事前に防ぐことにつながります。

02

目の前のお客さまにとって 一番伝わる会話を



冬は、雪の影響で移動に時間がかかります。一日どうやって現場を回るか、計画を立てることは、とても大切です。

停電対応やメーターの交換など、お客さまのご自宅にお伺いしての作業が主になります。この地域では、昔からお住まいのお年寄りも多いので、簡潔に、また自分の祖父母と話すように会話をします。

また、逆に若い世代のお客さまには、できるだけ詳しく丁寧に説明するなど、一番伝わりやすい話し方をいつも考えます。

冬の山道では、通行止めも頻発し、ナビやマップにだけ頼っていると現場に辿り着けません。電柱と電柱のつながりをイメージしながら、道を風景で覚える経験値が役に立ちます。



のぞき見リフレッシュ

休日は自分のクルマをいじって年に数回サーキットで走るのが楽しみです。



自分で整備したクルマで、年に4回ほど、クルマ仲間と福島のエビスサーキットに走りに行きます。

元々、機械いじりが好きだったんですが、自分のクルマを持ってから、クルマいじりが趣味になりました。エンジンとミッション以外は、ほぼ全部自分で手を入れて、走りを楽しんでいます。

MY TOOLS

トルクドライバー

正確な強さでネジを締め付けることができるため、メーターや機器を設置する際には、欠かせない道具です。ネジの締め付けが弱いと、接触不良や、機器の不具合を招いてしまうため、正確な作業が必要です。

スマートメーター

従来の機械式メーターから、順次取り替えを進めているスマートメーターは、遠隔での検針が可能となります。この地域では、冬場は雪によって、検針が困難となる場所も多くあるため、スマートメーターの役割はとても大きいです。

絶縁木鋤(こすき)

「木鋤」とは、雪国には欠かせない雪かき用の木製の鋤(すき)。電柱の上に積もった雪を落とす「冠雪落とし」という作業に使用します。毎年、年末くらいから作業が始まります。

絶縁木鋤の大きさは、長いもので約3m、短いもので約2m